

# ROTARY CONNECTS THE WORLD



第2780地区  
大磯ロータリークラブ



ロータリーは世界をつなぐ

2019～2020年度RI会長  
マーク・ダニエル・マローニー

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13 TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：第1・第3・第5 木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281  
会長 石山 智司 会長エレクト 齋藤 好正 幹事 桜川 誠

## 第2477回 例会

令和元年8月22日 No.5

■司会：瀬戸 亨一 ■点鐘：石山 智司 ■合唱：それこそロータリー

◇プログラム ・8月29日：休会 ・9月5日：通常例会、理事会 ・9月12日：休会 ・9月19日：通常例会

### ◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	マークアップ	修正出席率
2477回	15(13)	9	69.23%	—	—
2475回	15(13)	10	76.92%	—	—

### ◇欠席者(4名)

原、太田、田中、布川さん

### ◇マークアップ(0名)



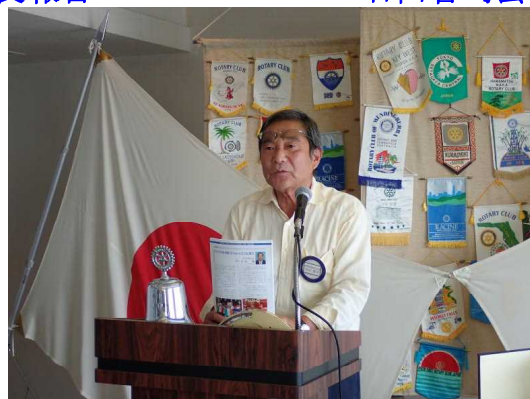
### ◇出席報告

百瀬恵美子委員



### ◇会長報告

石山智司会長



### ◇ゲスト

NP0法人コンフロントワールドより  
荒井昭則代表、亀ヶ川愛さん、白石大樹君

昨日第8グループ会長幹事会があり、議題は地区大会=10月19日(土)、20日(日)=のことが主でした。皆さんの出席をお願いします。

例会後理事会を開催しますので理事の出席をお願いします。

#### ◇幹事報告

#### 桜川誠幹事



#### 回覧：

1. ハイライトよねやま233号  
モンゴル・ウランバートルで開催された米山学友による第2回世界大会「絆 inモンゴル」の報告が記載されています。詳しい報告はロータリーの友10月号、米山月間特集で報告される予定。
2. The Rotarian誌

#### 配布物：

1. ガバナー月信
2. 地区大会パンフレット
3. 会報2476号

#### ◇委員会報告：

#### ☆スマイルボックス 河本親秀さん

- ・石山智司さん：コンフロントワールド荒井さん亀ヶ川さん白石さん東京からようこそ、歓迎します。今日は卓話よろしくお願いします。
- ・百瀬恵美子さん：毎日、暑い日が続きますが皆さんお元気でしたか？荒井さん亀ヶ川さん白石さんようこそ。宜しくをお願いします。
- ・新宅文雄さん：コンフロントワールド荒井さんようこそ。8/22「涼しい朝」でした。
- ・瀬戸亨一さん：コンフロントワールド荒井様亀ヶ川様白石様ようこそ。9/8～ウガンダ視察行く事になりました。よろしくお願いします。
- ・河本親秀さん：コンフロントワールド荒井さん亀ヶ川さん白石さんようこそ、本日はよろしくお願いします。9/8ウガンダ行き御苦労様です。

#### ☆河本親秀さん



NPOコンフロントワールドと協働して、ウガンダ・ブタンバラ県にトイレを建設するプロジェクトに、当初クラブから誰も出席しない予定でしたが、このプロジェクト委員会に参加頂いた瀬戸会員に是非ウガンダに行きませんか強く薦めた結果、行く事を決心下さり、CWの荒井さんと連絡を取りながら、9月8日出発に向けて、パスポート、ビザ、航空券等の取得、黄熱病予防注射など急ピッチで進めて下さっています。クラブ財政難の中ですが、是非皆さん/クラブから費用の支援をお願い致したく、よろしくお願いします。

#### ☆瀬戸亨一さん



河本さんからの話しのよう、ウガンダに行くことに略決まって、では「ウガンダって何処だ？から始まり、何も分からないまま、今日に至るまで必死に手続きをして今日パスポートを頂いてきました。黄熱病の注射が必要という事で出発に間に合うよう施設を探し、4箇所目でやっと見つかり、昨日新宿まで行って診察を受け、生ワクチンを打って貰いまし

た。ウガンダには色々危険な病気がある、生ワクチンで黄熱病に罹る人が30万人に1人いるとか、随分脅されましたが…済ませてきました。ビザもウガンダの領事が8月末まで不在で、9月2日であればビザを出せると言われ、行ってきます。航空券の購入にも色々ありましたが、入手しました。これから荒井さんに色々教えて貰って渡航に必要な持ち物など準備をしたい。

9月8日に日本を発って9日ウガンダ着、10日と11日の半日現場にいて帰国のため現場を離れ、12日にウガンダを発って、14日に帰国の予定。ウガンダのトイレ建設現場におられるのは1日半くらいしかないので、ロータリーの代表として行く価値があるかどうか悩んで河本さんに尋ねたら、自分の経験から、現場での体験、見聞は長さでなく、現場で感じたことは一生の考え方に大きく影響を与え、貴重な価値を与えてくれるので是非行くようにと、推され押しやれてしまいました。

Auに問い合わせたらスマホが日本ーウガンダ間通じるとのことで持って行きます。

皆さん14日に無事に帰ってくることを祈っていて下さい……拍手(^\_^)。

## ◇卓話

### ウガンダトイレ建設

NPOコンフロントワールド荒井昭則氏



パワーポイントを使って卓話：

- ・NPO法人コンフロントワールドとは  
2018年3月法人格取得。それまでは任意団体として活動
- ・主にウガンダで活動=ウガンダ人住民支援貯水タンク、トイレ建設。南スーダン難民救済など
- ・ウガンダの女性が作っているクラフト=エコバッグ、ポーチ、ペンケース等の日本での販売=これは青年海外協力隊JAICAの現地女性の就労支援=ミシン

の使い方などを教えて作った小物を販売しており、これをCWが日本で日本人に販売している。

・最近ペルーでも活動を始めており、ペルー共和国の刑務所の囚人が作るファッションブランド服=ピエタ=の日本での販売権をとって売っている。

・ウガンダはアフリカの中央部にある。ケニア、スーダン、コンゴ、ルワンダ、タンザニアに隣接。言語は英語、スワヒリ語、エチオピア語。

・タンザニアとの国境にマサイ族が住んでおり(1週間ホームステイした)一緒にサファリを見に行き、ヌー、縞馬、麒麟、象の群れなど野生動物の群れを目の前に見ることが出来た。

・CWのビジョン「不条理のない世界の実現」

=生活と権利が保護され、誰もが自分で未来を決められる社会の実現=

・現地NGO「JEDOVIC」と3年間の事業提携=2018~2020年=をし学校に1万2千Lの貯水タンク(雨水の貯水)3、浄化フィルター6の建設と衛生教育活動を行う契書交換(ブタンバラ県に登録された公認の事業)

・貯水タンク建設の理由：近辺に水源が無いため、子供達が家族のために毎日何時間も掛けて水くみに行かねばならず、その為学校に行けない状況を変えるため=300人の子供に安全な飲み水が提供出来た。

・ブタンバラ県のHIV陽性者10世帯に2つのトイレ付き小屋10棟を建設(1世帯6~10名)

・各世帯メンバーが建設に参加、トイレの管理清掃訓練を受けた後にユーザー管理委員会を設置。自己管理を行う。

・ブタンバラの人口2万5千人中25%がトイレを使用可能な状況で、衛生的とされるトイレを使用出来るのは18%(4,500人)のみ。=大人は庭に穴を掘り、用を足し、子供は家の周りで用を足している。

・実態写真や建設中トイレをPPTで紹介。



## 質疑：

・溜まった尿尿の処理は？  
＝尿尿を肥料に使う事は住民の宗教(イスラム)感覚とは合わないようだ。  
＝日本には浸透式トイレというものがあつた・貯水の為の雨は降るのか？  
＝雨季と乾季がある。雨季に貯めたものを乾季に使う。  
＝学校の屋根から雨樋で集めている。  
・貯水槽の水は暑さで熱くならないか  
＝コンクリート造りなので、それ程熱くはならない。  
・ウガンダの人口は？  
＝約3,500万人  
・国民総生産高一人あたりは？  
＝1.151ドル  
・何故ブタンバラ県を支援することになったか？  
＝以前、難民居住区のあるブル(ウガンダ北部)というところで難民支援活動していました。その後、もっと他の事業もしよう、他に現地で仕事をする仲間を探そうと考えている時に、メンバーの友人のJ A I C Aの方の紹介でNGOのJ E D O V Cの人々と出会ったことが切っ掛けになりました。J E D O V Cが無ければ我々の活動は出来ない、それがブタンバラ県に所在していたことからそうになりました。  
・不条理のない世界の実現というビジョンはビジョンが先にあつて支援活動されるようになったのか？  
支援している内にこのビジョンに到達したのか？  
＝どちらという事は難しいです。団体構成メンバーが自分の思いや経験に基づき話し合つて一致したのがこのビジョンです。  
・CWのメンバーが支援活動にやりがいを感じるモチベーションになっているものは何ですか？  
＝各人色々事情がある中、何故自分がこんな苦勞をしてまでCW活動をやるんだらうと自問しているとありますが、もの凄く達成感があるんです。それは現地へ行った行かないの関係ないと思います。現地でディクソンさん(J E D O V C責任者)の話の聞いたり、現地へ行ったメンバーから、現地の人達が喜んでくれたと報告を受けたりとかした時…。水汲みに行かなくて済むようになったと聞くと凄く胸が熱くなつたり、日本でウガンダの女性で作つた小物を販売することで、今まで働くことが出来なかつたウガンダの女性に雇用を生むことが出来た…。もの凄くやり甲斐があります。と言う事で、やり甲斐を感じるメンバーは残り、感じないメンバーは去つて行く事が現状有ります。

ここで出席の、白石君、亀ヶ川さんからもご自身の感じておられるところ、改善すべきところ、目指しておられるところをお話し頂き感銘を受けました。



・現地の人にお金を貸して自分で仕事を始めさせる様なことはどうか？  
＝マイクロ・ファイナンスや親豚を貸して子豚を産ませて自ら事業経営をさせている例があることは承知している。  
＝トイレ建設についてはお金を絡ませてやろうとすればとても長い時間が掛かるので、これは皆さんにお願いして資金を集めてやる。  
＝NPOとして自立して、CWメンバーに少しでも人件費を払えるようになりたい。  
＝3年後を目指してCWとしてお金を自ら稼いで支援活動が出来るようにしたい。

以上

河本さん：コンフロントワールドにはマンスリーパートナーという寄付制度＝毎月500円以上幾らでも＝がありますので、ご協力方よろしくお願ひします。

石山会長：コンフロントワールドの荒井さん、亀ヶ川さん、白石さん今日は有り難うございました。



点鐘：石山会長